

# さとう健司

県政報告  
Vol.12



2月県議会は、平成27年度当初予算案など70議案を可決して閉会しました。全ての方が輝く滋賀県政の実現を目指して、引き続き全力で取り組んでまいります。皆様のご指導、ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

◆平成27年2月県議会◆

【一般質問】

びわこ文化公園都市での  
県立体育館の整備を求める

Q どのような観点でびわこ文化公園都市におけるスポーツ・健康づくり拠点整備の検討を進めるのか？

A (知事) 国体主会場の選定の議論でも高く評価された、びわこ文化公園都市の「地の利」を活かして、本県のスポーツ推進や県民の健康づくりに貢献できる地域になるように検討していきます。

Q 将来的な施設整備をどのように取り組むのか？

A (知事) 県立体育館を含む社会体育施設については調査研究の結果を受けて、今後、各施設の運営や維持管理の方針を検討する。びわこ文化公園都市への県立社会体育施設も選択肢の一つとして立地可能性を調査し、総合的に検討し、判断していく。

Q びわこ文化公園都市全体の交通アクセス向上に取り組むべきでは？

A (知事) 現在のびわこ文化公園都市については、国道や京滋バイパスとの平面交差部分の渋滞、路線バスのルートの問題、駐車場の不足等の課題があると認識している。新年度、新生美術館の開館時期も見据えて、先行して交通アクセス向上の検討を行い、その上で、さらに多くの人々が利用し、交流する地域とするためJR瀬田駅、南草津駅からの利便性を高める地域全体の交通アクセスの向上策について中長期的に考えていく。

解説

県は、これまで、びわこ文化公園都市を都市の中核施設が集積し、人口も急増している地域として、LRT（次世代型路面電車）等の都市型の新たな交通システムの導入の検討を行うエリアと位置づけ、取り組みを進めてきました。

しかし、新生美術館の開館が平成31年度国体が平成36年度に予定される中、具体的な交通アクセス向上策が求められることから、短期的な対応を急ぐとともに、LRT等に固執せずにアクセス道路や域内道路の整備など周辺地域を含む新たな交通ネットワークの検討に力点を移すべきだと求めました。

これに対して、知事は「LRTについて将来に夢を持って取り組んでいくことが必要だと思ふ」と今後もLRTの実現を目指す考えを示しました。

【予算特別委員会】

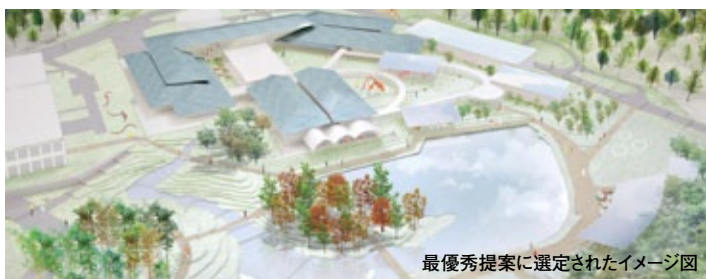
新生美術館が  
平成31年度に開館

Q 新年度に取り組む交通アクセス向上について？

A (総合政策部長) 新生美術館は年間30万人程度の来館者を目標としている。具体的には現在の交通機関に関する利用者の意識調査やコミュニケーションを行うことでバス路線や駐車場、案内表示の改善等、来館者の満足度の向上に向けた方策を検討し、美術館整備の設計に反映していく。

Q 新生美術館の玄関口となるJR瀬田駅の整備の考えは？

A (総合政策部長) シンボリックなアート作品の設置をはじめ駅および駅周辺をどうしていくのか早急に大津市や鉄道・バス等の公共交通機関と検討の場を持っていきたい。



最優秀提案に選定されたイメージ図

大津市東南部の  
警察署新設を強く求める

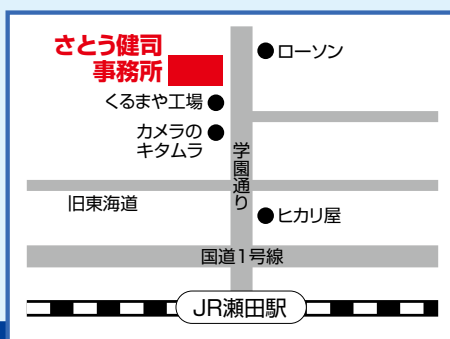
Q 時代に応じて警察署や交番・駐在所の配置を見直すことは警察力を強化するためにも必要である。具体的な再編整備計画を示すべきでは？

A (警察本部) 人口増加の著しい地域の警察署等の新設も必要と考えている。引き続き、大規模警察署の分割等の検討を行い、しかるべき時期に計画を出していきたい。ただし、警察官が不足している現状では、直ちに警察署の新設を行うことは難しい。

## さとう健司 事務所を開設しました。

プロフィール

昭和48年3月生まれ 42歳  
平成8年3月 同志社大学法学部法律学科卒  
平成8年4月 NHK (日本放送協会)に記者として入局  
平成16年1月～平成23年4月 大津市議会議員(二期)  
平成22年5月～平成23年1月 大津市議会第79代副議長  
平成23年4月～滋賀県議会議員



大津市一里山2丁目16-1 高橋ビル  
TEL.077-545-5414  
http://satou-kenji.com



# 貫くのは現場主義

## 1 教育再生、学力向上を目指します。

全国でも下位に低迷する全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、教育現場、家庭や地域と連携して教育再生に取り組みます。

学力だけでなく、生きる力を育む「心の教育」を充実するとともに、家庭を支援する体制を構築します。また、児童・生徒数が急増している特別支援学校の整備を目指します。



- 放課後学習や土曜日授業の環境整備
- 幼少期の学ぶ力に着目した保幼小連携
- 学校図書館の充実と学校司書の完全配置
- スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーの増員

## 3 暮らし安心、災害に強いまちをつくります。

土石流や地滑りなどから命を守るため大津市で47パーセントに留まっている土砂災害警戒区域の指定を急ぎます。また、近年の台風などで大きな被害が出た大戸川をはじめとする河川の整備に取り組みます。新たに整備される危機管理センターを中心に地震などの自然災害や原子力災害への備えを進めます。

- 自主防災組織や消防団への支援の拡充
- 災害情報の伝達や避難誘導體制の強化

## 5 子育てを応援します。

仕事と子育ての両立が出来る社会を目指すとともに、就学前教育の質の向上を目指した取り組みを進めます。

放課後児童クラブの環境整備を進めるとともに市町と連携してサービスを拡充します。「小1の壁」と言われる就学前からの接続をスムーズに進めることで働きながら子育てする家庭を応援します。

- 保育人材の育成、確保
- 児童虐待防止対策の強化
- 高校の修学支援の充実
- 3人以上の子供を持つ世帯に対する負担軽減策の検討

## 2 医療・介護の充実、健康づくりを進めます。

「命」に関わる政策にこだわり続けます。地域医療の充実を図るとともに、保健・医療・介護の連携をさらに進め、一人暮らしの高齢者や要介護認定者を地域で見守る仕組みをつくります。健康寿命の延伸を目指して、予防重視に大胆に転換するとともに、条例に基づくがん対策や歯科口腔保健の充実を図ります。



- 認知症の早期発見に向けた体制整備
- 医療、看護、介護人材の育成、確保
- がん患者の就労支援
- 小児保健医療センターの充実

## 4 地域経済の活性化

国の地方創生の動きにあわせた地域経済の活性化に取り組みます。水環境ビジネスをはじめ県内企業の海外展開への支援を働きかけるとともに、廃業率が開業率を大きく上回っている現状を受けて、創業や企業承継への支援の充実を目指します。また、農林水産業の担い手づくりを進めます。

- 若年者や女性、高齢者の就業支援の充実
- 県内企業の海外展開支援のワンストップサービス化

## 6 暮らしの価値向上で県民満足度向上を高めます。

平成36年に開催される国体を見据えて、健康づくりと街のにぎわいの拠点としてスポーツ施設の再整備を進めます。歴史文化資源を活用したまちづくりや警察力の向上など治安対策、防犯対策の強化に取り組みます。

また、再生可能エネルギー導入や大量繁殖する水草対策などを拡充し、未来に受け継ぐ環境を守ります。



- 新県立体育館のびわこ文化公園への誘致
- 近江国庁を中心とした史跡の活用
- 大津市東部における警察拠点の検討

## 未来への6つの視点

# 実行力! 皆さんのお声を形に――

### がん対策の推進

議員提案でがん対策推進条例を制定。提案者として内容の取りまとめにあたり、がん対策の充実を図りました。

### 歯科・口腔の健康づくりの充実

議員提案で歯科・口腔の健康づくり推進条例を制定。提案者として学校における歯科疾患の予防や医科歯科連携を推進しました。

### 子ども家庭相談センターの増設

児童虐待防止体制の強化を提案し、平成28年度大津市に新たな子ども家庭相談センターが開設されます。

### 小児保健医療センターの充実

小児保健医療センターの再整備を提案し、平成27年度に基本計画が策定されます。

### 近江大橋無料開放後の対応

近江大橋の無料開放後の維持管理に10億円の基金を創設するとともに大津市と連携して周辺道路の整備を進めます。

### 文化財の活用

休止されていた近江国庁の整備に向けた事業の再開を提案。平成27年度からは大津市瀬田地域で地域の担い手を育成するモデル事業が始まります。

### 防犯活動の推進

子ども安全リーダーへの支援制度を創設するとともに、防犯カメラの設置を進めました。

### 身を切る改革

議員報酬の削減で4年間に約3億7000万円を捻出。議員定数検討委員会の委員として議員定数を3人削減しました。



滋賀県議会議員

さとう健司

◎文教警察常任委員会  
◎体育振興・健康づくり  
対策特別委員会委員長

皆様のご意見をぜひお聞かせください  
sato@satoken.net